

秋空の下、健脚を競う!

〜第55回千葉県スポーツ祭典・陸上記録会〜

例年「千葉県総合スポーツセンター・陸上競技場（千葉市稲毛区）」で開催している「千葉県スポーツ祭典・陸上競技大会」ですが、今年は同競技場が改修工事の為「青葉の森・陸上競技場（千葉市中央区）」に会場を変え、1500m・3000m・5000mに絞った「中・長距離記録会」として千葉陸競の審判の方々の応援を得て11月3日（日）開催されました。



力走する小学生アスリート

参加者は、陸連登録・非陸連登録と合わせて約160名余。その多くは県内外から参加する小中学生で構成され、アットホームな雰囲気の大会となりました。

10時30分、最初の種目となる陸連登録者の「一般男子・壮年男子3000m」からスタート。

最近写真判定が主流となっている大会が多いのですが、本大会は今どき珍しい「手動判定」。

その為、ゴールには審判員が階段状になった審判席で選手を待つ姿が何となく新鮮な感じを受けました。

当日は朝からどんよりとした雲が立ち込め、天気予報ではお昼近くには小雨模様？というちょっと気になる天気でしたが、そんな暗い雰囲気を断ち切るかのような元気の良い声がグラウンドに響き渡ったのは「小学生男女の1000m」レース。

チームメイトがスタンドから盛んに声援する声に反応してか、トラックでは真剣な表情でゴール

を目指す選手たちにすっかり見とれてしまいました。

競技は順調に進み、最後の種目となる「一般女子・男子・壮年男子5000m」では、折から降りしきる雨の中を力走する選手たちに役員も感激。

最後にゴールした選手の晴れやかな表情を見て、「陸上記録会」という形にはなりましたが、開催した甲斐がありました。

特に、小学生部門に限っては1位～8位までの選手に対して表彰式を行ったのですが、表彰状を貰って表彰台上でクラブの責任者や親御さんたちが構えるカメラに向かって見せる選手達の笑顔が印象的でした。

併せて、参加者全員に「記録証」をお渡しできたことで選手からも好評を得られたことを報告しておきます。（園川記）

主な種目1位は次のとおり。（陸連登録者）

一般男子	1500m	寺島 涼太（千葉経済大学）	4分45秒76
壮年男子	1500m	大森 健功（千葉市）	4分49秒31
一般男子	3000m	寺島 涼太（千葉経済大学）	10分7秒21
一般男子	5000m	清水 慶一（RUNWEB）	17分4秒13
壮年男子	5000m	小嶋 和彦（千葉市）	17分47秒95
小学男子	1000m	齋藤 晴樹（君津MSCRC）	3分1秒69
小学女子	1000m	手塚 蕾（imakids）	3分07秒51
中学男子	1500m	中村 優佑（君津MSCRC）	4分26秒66
中学女子	1500m	椎名 恵（imakids）	4分55秒60



五人以上の参加チームには、記録集をお届けしました。

善戦むなしく敗退 (栄町クラブZ)

第53回全国軟式野球大会

2019年11月9-10日、第53回全国軟式野球大会が「晴れの国・岡山」にて、まさに快晴のもと、北海道・東北～九州ブロックを勝ち抜いた15チームと主管地代表の計16チームにより開催されました。

千葉からは関東大会で出場権を掴んだ、大会最多出場17回の栄町クラブZ（以下「栄町」）が出場しました。



栄町は里庄町虚空蔵公園野球場で第1試合三重県代表ハングリーズと対戦。

初回、栄町は1死後、2番が右中間3塁打で出塁。

3番のレフトフライ

エラーで先制。

その後2死2塁から5番のライト前ヒットで1死1・3塁からショート内野安打で追加点を挙げ、その後四球、レフト前ヒットで3点目を挙げさい先良いスタートを切りましたが、後は散發の一安打に抑えられ、追加点を挙げることはできませんでした。

しかし、先発の弓立投手がハングリーズ打線をセンター前ヒット一本に抑え、完封で二回戦に進みました。

二回戦は、投手戦を1-0で勝ちあがった初出場のガイナメ（徳島県）と対戦。

初回ガイナメに二本のヒットを許すも先制を許さず。

3回、先頭から3連続四球と1塁手のFC（失策）で先制され、2死後デッドボールで二点目を献上。

3回裏、栄町は先頭が四球で出塁し、2死後から連続ヒットで1点を返します。

続く4回、ガイナメは1死後から左中間2塁打とライトオーバーの3塁打で三点を挙げます。

4回裏、栄町は先頭がレフト線2塁打で出塁し、2死となるも、1・2塁間の内野安打で2点目を挙げます。

しかし、反撃もここまで。5・6・7回は相手投手に三者凡退に抑えられ、準決勝進出はなりませんでした。

栄町はエース不在が響きました。

決勝戦は京都「ニチダイ」と福岡「Nissho野球部」が対戦。

ニチダイは初回内野エラーで出塁走者を四番打者が左中間タイムリーヒットで得点。

5回にも2塁打出塁走者を手堅くバントで送り、次打者のライト前タイムリーヒットで加点。



一方、Nisshoも4回四球ランナーを四番打がレフト前タイムリーヒットで得点。しかし、同点、逆転には結びつかず2-1で敗退しました。

京都「ニチダイ」が福岡「Nissho野球部」を破り、見事全国を制しました。準優勝福岡「Nissho」は2年前千葉県主管地開催第51回大会での優勝チームで、今回2年ぶり2度目の優勝を狙っていました。

両チーム安定した投手と堅い守備で内野ゴロとフライアウトが目立った、全国大会決勝戦らしい、すばらしい試合でした。

（田久保・脇村）



スポーツの秋に乾杯!

手に汗を握る熱戦に次ぐ熱戦

~~第18回ミックスバレー千葉市交流大会~~

朝夕の冷えも強まりめっきり秋も深まってきた
11月10日(日) 磯辺スポーツセンターで「第18回
ミックスバレーボール千葉市交流大会」が新旧入り
乱れての7チームによる総当たり戦で行われました。

参加チームは今年の全国大会(愛知県・一宮市)
に出場権を得ているReversible とBURSTの2チ
ームに加え、新鋭のMacotts、久しぶりに参加の
AQUA とGOZILA、常連のRebornとSpicaの合計7
チーム。

例によって会場準備が会場スタッフによって事前
に整えられており、選手たちは思い思いにウォー
ミングアップを十分に行い、午前9時半に第1試合の
プロトコールがアナウンスされ熱戦の火蓋が切られ
ました。

午前中の第5試合目を終えた時点でトップに立っ
たのは3戦全勝のBURST とReversibleの2チーム。

2勝1敗 でGOZILA が続く。思わぬ苦戦を強い
られたのはAQUA とMacottsの両チームは1勝2敗で
並ぶ。善戦むなしく3敗を喫したのはRebornと
Spica

午前最後の試合でのハプニング! レシーブしたボー
ルが何とバスケットのスリーポイントシュートよろ

しくバスケットに直接カップイン?! 得点にはなり
ませんがこの珍事が会場の笑いを誘いました。

ここで選手の疲労度を考え約45分間の休憩をと
り午後の部へと移りました。午後 12時45分、午後
の戦いのプロトコール。

どの試合も選手の熱い、熱いプレーが続出。

そしてこの日のハイライト! 全国大会出場同士の
BURST ・Reversibleの第9試合目。どちらも4勝
の全勝同士。

この1戦で優勝の行方がほぼ決まるとあって選手
の意気も上がる。どちらも譲らず、取ったら取り返
すシーソーゲームの展開が続くも、最後には試合巧
者のBURSTに軍配が上がる。

お隣のコートでGOZILAとAQUAの一戦も同じ
ような試合展開となっておりAQUAが勝利を収め
た。午後3時45分頃全試合を終了。

BURSTが6戦全勝で優勝。次いで5勝1敗の
Reversibleが準優勝。全国大会での活躍を予感させ
てくれるパフォーマンスでした。3位には3勝3敗同
士のAQUAとGOZILAで、得失点差でGOZILAが3
位となりました。 以下戦績は次の通りでした。

(園川記)

第18回ミックスバレーボール千葉市交流大会対戦結果

チーム	BURST	Reversible	Spica	Macotts	Reborn	AQUA	GOZILA	勝敗	得失点差	順位
BURST		○ 25-20	○ 25-7	○ 25-20	○ 25-20	○ 25-14	○ 25-23	6勝0敗		1
Reversible	× 20-25		○ 25-15	○ 25-20	○ 25-20	○ 25-11	○ 25-18	5勝1敗		2
Spica	× 7-25	× 15-25		× 11-25	× 17-25	× 12-25	× 22-25	0勝6敗		7
Macotts	× 20-25	× 20-25	○ 25-11		× 20-25	○ 25-22	× 22-25	2勝4敗	-1	5
Reborn	× 20-25	× 20-25	○ 25-17	○ 25-20		× 20-25	× 14-25	2勝4敗	-13	6
AQUA	× 14-25	× 11-25	○ 25-12	× 22-25	○ 25-20		○ 25-20	3勝3敗	-5	4
GOZILA	× 23-25	× 18-25	○ 25-22	○ 25-22	○ 25-14	× 20-25		3勝3敗	26	3

常任理事会報告

11月21日(木) 連盟事務所にて第9回常任理事会を開催しました。

主な活動報告(大会・講習会)

ランニング 11月3日(日) 陸上記録会を青葉の森陸上競技場で開催。163名が参加。全員に記録証を配布し好評を得た。

ウォーキング 9月の台風と10月の豪雨の為に中止

バレーボール 11月9日・10日 愛知県の全国大会に千葉から男女合わせて6チームが参加

ミックスバレー 11月10日(日) 磯辺スポーツセンターにて第18回交流大会を開催。7チームの参加。優勝はBURST

卓球 11月21日(木) スポーツ科学センターにて講習会を開催。最多の33名が参加。

テニス 10月19日(土)・11月17日(日) 鈴木杯テニス大会。

11月10日(日) 高浜でチーム対抗戦。

サッカー 11月17日(日) リーグ戦を開催。

野球 10月20日(日)・11月4日(休)・17日(日) トーナメント戦を開催

主な討議・決定事項

組織・財政関係

○自治体要請署名 千葉県654筆。千葉市639筆集

まった。昨年を上回りました。

○懇談会の予定 千葉県教育庁は11月29日
千葉市スポーツ振興課は12月18日

○各種目別協議会との懇談
10月17日(木) テニス協議会と行いました。

新しい運営委員やベテランの役員から連盟についての疑問など率直な意見が出されました。
次回は空手との懇談を1月に予定

○財政について 台風の影響で大会が中止になり事業収入減
募金活動を強めることを確認しました。

○ひろば誌郵送料について

郵便料金の値上げにより来年4月より郵送料を1冊70円から80円に値上げをせざるを得なくなる見通し。
理事会にて決定します。

組織・運営関係

○県連盟50周年記念行事について 2020年11月14日(土) 穴川ミューゼウムを第一候補に

○県連盟定期総会に向けて

12月の常任理事会にて情勢と総括・次年度方針の骨子を確認し、来年1月の常任理事会と2月の常任理事会で論議し、2月27日の理事会に計り3月20日の総会に提案することを確認しました。

総会案内は11月の理事会で案文などを検討し、12月1日付けで発送を予定しています。

スポーツアラカルト

「動体視力」

今回のテーマは「動体視力」です。

スポーツをやられている皆さんはもうすでに知っているよ!という方も多数おられると思いますが、今回は少し詳しく、おさらいも含めた内容でお時間を拝借します。

「動体視力」は、視力の分類の一つで、静止した物体を見分ける能力のことを「静止視力」、物体を正確に識別する能力のことを「動体視力」と言います。

よく健康診断で、片目を隠して右、左と言う視力検査は、「静止視力」検査なんですね。

この両者は異なる能力と考えられていますし、実際に静止能力が高いが動体視力は低いという人も多く存在する事もデータとして表れているようです。

また、動体視力には、横方向の動きを識別する「DVA動体視力(DVA: Dynamic Visual Acuity)」と、前後方向の動きを識別する「KVA動体視力(KVA: Kinetic Visual Acuity)」の二種類があり、どちらが優れているかによってそれぞれ向いているスポー

ツが違うとも言われています。

私みたいな趣味で行っているスポーツマンもどきでは、その向き不向きも分かりませんが、一定レベルを超えたアスリートでは、その違いで成績も大きく変わってくるのでしょうか。

また、動体視力は年齢とともに低下すると言われていますが、鍛えることは可能だとも言われています。

よく一般的にスポーツ選手は動体視力に優れていると言われてはいますが、これは生まれつきのものだけではなく、普段の練習や試合で自然と訓練されているためと考えられています。

と言うことは、やはり鍛えれば年齢による衰えも少なくなるし、もっと頑張れば、昔以上になるかも。どうですか!皆さんも今一度「動体視力」を鍛えなおしてみたいはいかがですか!

では、どうすればいいのか...

それは、またこのスポーツアラカルトにお呼びが掛かった時にお教え致しますね。

その前に、皆さんご自身で調べて実践されれば、私の出番も無くなるかもですね。

吉川 明



クラブ紹介

K'S (ケース)

野 球

① **クラブ (チーム) 名** K's (ケース)

② **代 表 者** 河 野 久 雄

③ **チームの連絡先** 千葉市美浜区若葉
(連絡希望の方は県連盟事務所まで)



④ チームの概要

(名前の由来・チームの特徴・練習日程・人数等)

【チームの由来】

1994年秋、横芝敬愛、千葉工商(現敬愛学園)、千葉敬愛の同級生OBを中心に結成。

3校に共通する「敬愛」の頭文字「K」をチーム名としました。

【チームの特徴】

結成当時のメンバーは引退しましたが、現代表がチームを引き継ぎ、代表を務める会社のメンバー約20名でチームを構成。野球経験者を中心にトーナメント大会やリーグ戦に出場し、勝ちに拘る野球漬けの週末を楽しみにしているチームです。

メンバーの平均年齢は20代後半。若くて元気のある野球経験者の集まりなので、流れに乗ると勢いに乗って突っ走るチームです。が、流れが悪くなると静かでどんよりとなり、浮き沈みが激しいチームではあります。前向きで直向きに野球を愛するメンバーばかりなので、声を掛け合い励まし合いながら、チームワークの良いチームです。

ただ、転勤の多い会社なので、毎年チーム構成も浮き沈みがあるチームです。

【活動状況】

日曜日を基本とし、大会やグラウンドの確保状況により、土曜日、祝日にも活動していますが、仕事、プライベートを優先し、集まれるメンバーで楽しく活動しています。

部員は会社のメンバーで構成している為、外部に対しては募集は行っていません。



⑤ クラブのアピール

楽しみながら勝ちに拘る野球をし、リーグ戦優勝、トーナメント優勝を目指しています。

昨年は全国大会を経験し、より高いレベルを経験したので、今年は更なるレベルアップを目指しています。

⑥ その他

(スポーツに関する情報・スポーツ連盟に期待すること等)

グラウンド確保、試合調整等の運営について、感謝しております。

引き続き、連盟の運営の活動に協力をしていきたいと思っています。



クラブ紹介掲載を希望されるクラブは、600字程度の原稿と写真3~4枚を新日本スポーツ連盟千葉県連盟事務所までメールに添付してお送りください。

SPORTS CALENDAR

12月

12月 1日 (日) 祭典・野球協議会トーナメント戦 決勝
12月 8日 (日) サッカー協議会リーグ戦
春季テニス大会
検見川クロスカントリー大会
12月14日 (土) 鈴木杯テニス大会
12月15日 (日) 新スポ・フェスタ卓球大会
12月20日 (金) 月例ウォーキング
12月21日 (土) 鈴木杯テニス大会
12月22日 (日) サッカー協議会リーグ戦

全国ミックスバレーボール大会

12月7日・8日 愛知

全国卓球選手権大会 (一般) 12月14日・15日 広島

1月

1月 5日 (日) ミックスバレーボール新春大会
サッカー協議会リーグ戦
1月12日 (日) チーム対抗テニス大会
サッカー協議会リーグ戦
1月17日 (金) 月例ウォーキング
1月18日 (土) 新春チーム対抗テニス大会
1月19日 (日) サッカー協議会リーグ戦
1月25日 (土) 冬季卓球大会
1月26日 (日) チーム対抗テニス大会
サッカー協議会リーグ戦



マラソン・競歩会場の北海道・札幌への変更 ～～選手ファーストで～～

このコラムを担当して早いもので3年余が経とうとしています。

今年もスポーツ界ではいろいろな出来事がありました。近いところではラグビーワールドカップでの初のベスト8入り。バスケット・八村塁選手のNBA入り。

プロゴルフ女子の笑顔のシンデレラガール・渋野日向子選手の活躍。夏の甲子園高校野球(県予選)での大船渡高校・佐々木朗希投手の起用法・バドミントンの桃田賢斗選手の活躍・オリンピック招致にかかるJOC武田会長を巡る疑惑・大リーグイチロー選手の引退・・・数え上げればきりがありません。

その中でこれだけはどうしても書きたい事案がタイトルに書いた「マラソン・競歩会場の札幌への変更」です。

真夏の東京での大会開催は「酷暑」と言える環境下でのレースとなることは関係各方面から早くから指摘されており、そのため開催地である東京都は遮熱対策と称して色々対策を講じてきました。

陸連もMGCというレース形式で大会本番に近い気象条件である9月に実施し、暑さに強い選手を選抜してきました。

しかし、IOCは10月にドーハで開催された世界陸上での女子マラソンや競歩で次々に途中棄権者がでた姿を見て同じような酷暑が予想される東京大会での危険を避け、涼しい北海道・札幌市に会場を変更することを決定しました。

前々から炎天下での屋外競技の危険性は指摘されていたことから五輪まで10カ月を切った時点でのIOCの決定はむしろ遅すぎた感がぬぐえませんが、選手の安全を考えると評価できます。

しかし、当事者である選手や開催地の意見を十分にくみ取っていたのか？組織委員会としてIOCに対して意見を言っていたのか？新たな開催地・札幌の負担は？レース日程は？問題は尽きません。

そもそも7月から8月の時期に五輪を開催することはIOCが巨額の放映権料を払うアメリカのテレビ局の要求を最優先していることが原因です。

今後も同じことが繰り返されることになることははっきりしていますのでIOCも正面からこの問題を見直すことが求められます。



理事長の独り言